

**Japan Optimist Dingy Association
supports children who love yachts.**

CONTENTS

2022イヤーブック発行にあたって	1
2022年海外レース	2
2022 Optimist World Championship	2
European Championship 2022	4
2022 Optimist Asian&Oceanian Championship	6
2022年国内レース	8
第53回 全日本オプティミスト級セーリング選手権大会	8
2022年 JODA ナショナルチーム最終選考会	10
第31回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ ミキハウスカップ東京 2021	11
第17回 坊っちゃんカップジュニア・ヨット大会	11
第35回小沢吉太郎記念少年少女ヨットレース大会	12
2021 藤沢チャンピオンレース	12
2021 年度江の島強化合同フリートレース アーリースプリングレガッタ	13
2022 九州ウィンターカップ	13
第19回ノルウェーフрендシップヨットレース	14
第67回関東水域 OP 連絡会オープンヨットレース大会	14
第11回西日本ジュニア・ユース交流セーリング選手権大会	15
第3回 Bocci Cup	15
OPクラス 関西選手権	16
第32回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ	16
2022年度 ジュニアレガッタ	17
第22回夢の島レガッタ	17
2022障がい者と健常者のヨット大会	18
第34回福岡ジュニアヨット選手権大会	18
中止になった国内レース	
2022 MAIN STAGE 兵庫ジュニアオープン選手権	19
国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2022	19
全日本OP級ヨット選手権大会 歴代チャンピオン年表	20

2022 イヤーブック発行にあたって

日本オプティミストディンギー協会
理事長 濱本徹夫

今年度もコロナ感染症拡大の中、皆様方のご理解とご協力の中ジュニアセーラーの安全安心を確保するため様々な対策を講じ、無事に開催することができたことに對し指導者並びに保護者方々に感謝申し上げます。

OP 級セーリング競技は、自然の環境を理解し自分たちでコースを決め目的に向かって進む競技であります。子供たちがこれからの社会で「生きる力」をはぐくむ競技ではないかと考えております。

これからも、OP 協会としては、子供たちのサポートし健全育成に努めてまいる所存でございます。

最後になりましたが、これらの活動にご支援ご協力頂いたスポンサーの皆様をはじめ全国各クラブの皆様のご尽力に感謝と敬意を表するとともに、オプティミストに關係する皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。



World

2022 Optimist World Championship

開催地：トルコ ボドルム

期間：6/27-7/7

参加艇数：276 艇 (61 カ国)

監督：池田 晴紀

参加選手：池田 航介 (9)

堤 悠人 (9)

堀野 瑠海 (9)

藤田 蒼士 (9)

本多 剛 (9)



アーリーアライバル～計測日

2022年世界選手権はトルコのボドルムで開催されました。イスタンブールから国内線で約1時間、トルコのリゾート地として知られているとても美しい街です。気温は35度前後で日差しは厳しいですが湿気は無く、午後からは毎日安定して良い風が吹いているので快適です。

Team JAPANは公式到着日の2日前6/25にボドルムに到着しました。あまりにも美しい海の色を見て空港からのバスの中から早くも選手たちは大興奮!ホテルにチェックインして昼食後は早速チャーター艇の受け取りと帆装にかかりました。選手一人ひとりがいつも通りのチカラを出せるように各自自分仕様に念入りに準備をしました。

翌日はいよいよ美しいエーゲ海へ!常に10メートル超えの良い風が吹き続く中、海上練習に励みました。

到着3日目6/27。男子5人はいつでもどこでも元気いっぱいです。計測も皆、無事に終えて午後からは実際のレース海面で海の状況を入念にチェックしつつ100艇のプラクティスレースに参加しました。そこでソウシが上マークトップ回航の知らせ。もしかしたら!もしかするかもしれない!?

開会式

ボドルムの街は昼がとても長いです。日没は21時ごろ、日本の時間感覚とは全く違う開会式は夜スタートです。街の中心地からパレードが始まり、街中の人に声援をもらいながら開会式場であるボドルム城まで華やかなパレードが行われました。全選手が集まり各国の国旗が並ぶ圧巻の眺めです。いよいよ始まる 것을実感し、楽しくもありながらこの大きな舞台に少し緊張する表情も見えました。

暮らし

選手と三役は大会公式ホテルに、サポートーズはそこから徒歩5分以内の一軒家を借りて宿泊しました。ホテルの中央にはスライダー付きのプールがあり飽きることなく毎日のように海の後はプールへ直行!このプールが選手たちの社交場であり英語が堪能でない選手も単語を並べて身振り手振りで他国の選手と積極的にコミュニケーションを取っていました。ごはんはたっぷりの色とりどりの野菜やケバブ、パスタとバリエーション豊かですがやはり我々はお米が大好き。毎日おにぎりを食べたりサポートーズの家でカレーを食べたり体とココロのバランスを上手にとりながらの食事でした。



レース（予選シリーズ 大会1・2・3日）

第1レースからやってくれました！yellow フリートのソウシ&ユウトが1・2フィニッシュです。惜しくもソウシのあかくみが外れていたためSTPとなりましたが、続くゴウもRed フリートで6位。幸先の良いスタートです。レース後はコーチとトラックトラックを使いスタートと風の振れの対応の振り返りを毎晩しっかり行いました。

チーム結成直後からこのチームでの取り組みとして「5人全員で強くなる」と活動してきました。5人それぞれの強みを共有し、不足している部分をお互いが補い合う。良いところは隠さず、苦手なことは恥ずかしがらず質問する。日本から続けてきたこの繰り返しによりレース3日目には差はありますが5人全員がいつもの自分の走りに近づいてきたように思います。結果、ゴウがゴールド、ユウト&ソウシがシルバー、ルカ&コウスケがブロンズで決勝を迎えることになりました。

チームレース（大会4・5日目）

前日までと変わりチームレース日和な風が吹きました。初戦オーストラリア戦で勝利！ガッツポーズをしてパンピングを取られる（笑）というハプニングもものもせず、しっかりと安定して勝利をおさめました。第2戦のスペインには惜しくも負けてしましましたが第3戦ペルトリコには勝利。続くノルウェーにも勝ち、なんとベスト16入り決勝に進出する快挙です。海上のコーチも陸の監督・サポーターズも大興奮の一日でした。

翌日の決勝リーグは第一戦デンマーク・第二戦ペルーと続けて負けてしまい世界の壁を思い知らされましたが5人のチームワーク・絆は本当に素晴らしい、誇りに思います。



レース（決勝シリーズ 大会6・7・8日）

風が吹かず、15時スタートと今までよりも遅いスケジュールで決勝リーグが始まりました。各選手はそれぞれの思いを胸に挑みます。そんな中、ゴールドフリートのゴウが強豪を相手に第7レース13位と良い走りをみせてくれました。ブロンズフリートのコウスケとルカも決勝リーグでは自分の走りを取り戻し、しっかりと走ります。最終日最終レースはルカトップフィニッシュ！ユウト・ソウシもそれぞれ健闘しました。

最終成績

67位 本多剛 77位 堤悠人 95位 藤田蒼士 144位 堀野瑠海 146位 池田航介

閉会式

OP世界チャンピオンを目指す挑戦、全てのレースが終了しました。

閉会式は再びボドルム城に集まり、最終日に5つ順位をあげたタイのウェカが大きなメダルを胸に、国旗を掲げ盛大に表彰されました。Team Japanの5人は目標に対して達成した面と悔しい面と両方をそれぞれが併せ持っていますが、みな全力で戦い抜きました。海外でのレースではまずは“いつも通り”を意識すること、と出発前からコーチから何度も言わっていましたが本来の実力がきちんと發揮できれば上位を狙うことが十分に可能ではないかということを改めて実感させてくれました。

最後に

中3男子5人、仲が良くチーム結成時から帰国まで陸上ではいつも楽しく、海上では厳しく！メリハリの利いた良いチームでした。一緒に過ごせたこの経験は彼らの財産です。また、この大会でそれぞれがとても大きな学びを得ました。これを糧に次のステージに進み、さらなる力を発揮してくれる信じています。

このような機会を与えてくださったJODAの皆さん、海外遠征を心強くサポートしてくださった後藤コーチ・池田監督・堤国代表・各クラブの指導者・保護者の皆さん、支えていただいた全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。（サポートー：堀野 香澄）

European Championship 2022

開催地: Sønderborg Denmark

期間: 7/30-8/6

参加艇数: 253 艇 (43 カ国)

コート: 後藤 浩紀

参加選手: 後藤 大志 (8)

岩波 萌夏 (8)

吉岡 晴月 (8)

伊藤 音人 (8)



2022 年の OP ヨーロッパ選手権は、デンマーク・スナボーで 43ヶ国、253 名のセーラーを集めて盛大に開催された。日本代表の 4名は、蒲郡の選考会で最後までワールド入りを争った選手たちであり、準備期間にもワールドチームと合同の練習会やレースを重ねることで実力を高めてきた。それぞれ得意な風域やコンディションがハッキリしている選手たちなので、そのアドバンテージをできるだけ広げ、全員でゴールドフリートに進むことを目標に準備を進めた。

大会会場のスナボーは、ドイツとの国境にほど近い小さな町で、宿泊は 3ヶ所のホテルに分割、OP の置き場もマリーナに收まりきれずに公共の公園を使い、ビーチから出艇するなど、明らかに町のキャパシティを越えているという印象であった。高緯度なため心配していた気候については、晴れれば汗ばむ陽気の日もあったが、バルト海の水はやはり冷たく、朝晩には 10°C を切ることもあり、ウェア選択が難しかった。

事前の情報では微風もしくは超強風までいろんな風が吹くと聞いていたスナボーの海だったが、蓋を開けてみれば 5-10 ノットの軽風に終始した。陸に囲まれた湾なので、どちらから吹いても波は低く、風はシフティー。ただし強弱を伴う大きな風軸の変化もあり、単純な振れタックが通用しない難解な変化に選手たちは苦しめられた。皆無と聞いていた潮流が、実際には結構なスピードで流れていることも、より判断を難しくしたかも知れない。

それでもレース初日は岩波選手が 5-3 の暫定 2 位につけたり、伊藤選手が 3 位フィニッシュしたりと、日本チームの見せ場もあった。予選 6 レースを終えて上記の 2 選手はゴールドフリートに進んだものの、吉岡・後藤の両名はスコアメイクに苦しみ、残念ながらブロンズフリートとなってしまった。かといって、彼らがスタートから消極的なレースを展開した訳ではない。むしろ一線でクリーンなスタートを決めることが多かったのである。

しかしながらその後の展開を有利に進めるためのボートスピードが足りない。伊藤選手がゴールドフリートで胸がすくほどのトップスタートを決めた時も、走っているだけで徐々に艇団に飲み込まれ、後続集団へと追いやられてしまった。勿論それでもコース



コースが当たれば、まだいくらかは上位で回れるチャンスもあるのだが、たとえ完璧なレースをしてもトップ10を走れるチャンスはないのが、いまの日本チームの実力と言わざるを得ない。女子フリートではまだ戦えていたが、昨今の男女差を考慮すると、だいぶフリートの実力に開きがあると思われる。

最終成績は伊藤音人39位(ゴールド)、吉岡晴月100位(ブロンズ)、後藤大志123位(ブロンズ)、そして女子の岩波萌夏33位(ゴールド)であった。42条ペナルティーやUFD、BFD、さらに掲示の確認不足によるDNEなど、もったいない失格で順位を落としてしまったのが悔やまれる。普段通りのレースを心がけようと何度も繰り返し伝えていたが、国際レースで普段通りのレースをする難しさを身にしみて学んだのではないだろうか。

ワールドチームもそうだったように、フルパワー以下のコンディションで、我々は世界のボートスピードの進化に取り残されてしまっている。スピードのないヨットレースほど難しいものはない。思うような成績を残せなかつたとしても、それで選手を責めるのは酷だと感じる。最低でもフリートについて行けるスピードがなければレースにならないのだから。そのスピード差が使っている道具から来るのか、セッティングなのか、走らせ方なのか。レースに参戦するだけでは、きっと答えは分からんだろう。



陸続きのヨーロッパ各国は、日本でいえば県を跨ぐ感覚で他国へ遠征できる。日本の選手たちが他県への遠征を重ねて強くなるのと同じ理屈で、ヨーロッパの選手たちはテクニックやノウハウを、国を跨いで共有しているのである。我々は井の中の蛙にならないよう、有望な選手やコーチを海外に送る、もしくは日本へ招く試みを継続しなければならない。幸い日本はタイやシンガポール等、アジアの強国と地理的に近いというメリットもあるのだから。



コーチボートをシェアしたイギリスチームと

今回の日本選手団はレースの2日前に現地入りし、チャーター艇を受け取って僅か1日の練習で本番を迎えた。選手の親が引率するスタイルでは、仕事の関係でどうしても滞在日数が短くなってしまう。タイトルを狙うような国は、少なくとも1週間前には現地での練習を開始している。子供たちが夏休み期間なのであれば、少なくともあと数日早く現地入りし、充分な準備と練習期間を確保したいところだ。今回は保護者兼コーチという特殊な立場であったが、来年以降はJODA、保護者、コーチの役割が今より補完しあって、選手たちがさらなるパフォーマンスを発揮できる遠征ができるよう願っている。

Asia

2022 Optimist Asian&Oceanian Championship

開催地：インド・ムンバイ

期間：12/13～12/20 (12/10出発・12/21帰国)

参加艇数：101艇

監督：鈴木あづさ

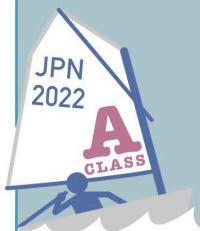
参加選手：加原弦季(6) 児島惟高(7)

嘉手川涅帆(8) 有本心優(8)

蔭山陵(8) 鈴木しおん(8)

中澤太郎(7) 北川淳朗(8)

岩波将吾(6)



総合成績

- 1位 タイ
- 2位 シンガポール

個人成績

- | | |
|------------------------|-----------|
| 11位 鈴木しおん
(アジア女子3位) | 28位 児島惟高 |
| 16位 加原弦季 | 31位 有本心優 |
| 18位 岩波将吾 | 32位 嘉手川涅帆 |
| 25位 中澤太郎 | 41位 北川淳朗 |
| | 66位 蔭山陵 |

チームレース成績

- 1位 シンガポール
- 2位 タイ
- 3位 日本
(有本・岩波・加原・中澤)

長い長い準備期間・あっという間の大会期間

2022年2月、蒲郡でのNT選考会で10名のアジア・オセアニア選手権のメンバーが決まった。開催地は韓国・麗水(ヨス)日程は未定。しばらくして日程は4月末に決まるも、コロナの大流行により8月に延期される。さらには韓国が開催を辞退し、開催国を探すところからに・・・

大会に向けて準備をするも、開催されるかどうかわからぬ状況下でのモチベーションの維持が難しく、またメンバー10名中6名が中3で進路にも関係する時期と重なっており、本当に長くしんどい期間であった。インドのムンバイで12月に開催されることが決まり、やっと、とほつとした思いであった。

開催が決まってからはさらに入念な準備と、様々なレースでそれぞれが経験値を上げ12月10日にインド・ムンバイに向けて日本を出発した。

インドという国

人口14億、エネルギーに溢れている印象を受けた。予想はしていたが、12月の日本から真夏の30度越えのムンバイは、皆体が慣れるまでに数日かかった。そのことを見越して前入りしていたため、レースが始まる頃には慣れることができた。また飲み水には要注意と聞いており、日本から水を持ち込む選手がほとんどであったが、幸運なことにホテルの衛生管理がしっかりしており、提供されるミネラルウォーター



や食事に問題がなく、体調を崩す選手が1名も出なかった。このことはレース出場に大変プラスに働いた。

ホテルでのセキュリティは非常に厳しく、日本から持参した炊飯器が部屋で使えずホテル側に保管されるというハプニングも・・・サポートーの尽力により日本大使館の協力を得て、レースが始まる前日にホテルの調理場で早朝ご飯を炊かせてもらえる許可をもらい、選手たちは毎日美味しいおにぎりパワーで頑張ることができた。ただ日本と比べルーズな面もあり、予定なく急なスケジュール変更は当たり前であり、毎日昼から（13:30）レースなど、日本とは違う環境に早く慣れ、まわりに振り回されないことが大事だと感じた。



前半戦勢いにのる日本勢

予選シリーズ初日から、中澤選手の連続トップを皮切りにシングルを連発する日本勢。101艇を2グループに分けたフリートの中で、思った以上に海外選手に負けずに帆走できると感じた選手が多かったようだ。本番が始まる前に2日間練習をしっかりと行い、複数国でのレース練習にも参加することで、心と体がしっかり準備できたこと、（風速は4-12knot 波は立ちにくい）気後れすることなく積極的なスタートを行い、はっきりと見えてるブローを取りに行くコース取りができていた結果だと思う。

手に汗握るチームレース

レースの中日はチームレースが開催された。日本からはJAPAN1（有本・岩波・加原・中澤）JAPAN2（嘉手川・北川・兒島・鈴木）の2チームが出場した。途中JAPAN同士の対戦もあり白熱した勝負の末にJAPAN1が準決勝にコマを進めた。準決勝ではタイに3マークでのマークトラップに抑えられ惜敗した。かなり悔しい気持ちを胸に、地元インドとの3位決定戦ではフィニッシュラインまでもつれる大接戦となったが、見事逃げ切り3位入賞銅メダルを獲得した。JAPAN1の4艇が並んでハーバーバックする姿には本当に感動をもらった。

課題 後半戦の戦い方

タイ・シンガポールとの差が明らかに出た後半戦となった。どのようなコンディションでも1上をシングルで回航するプランニングと実行力がタイとシンガポールにはあった。シンガポールは自国コーチに加え、スポーツ心理学のコーチが帯同しており勝つために国をあげて取り組む姿勢・体制が見えた。またタイは自国コーチの体制もしっかり整え、さらに開催国インドにコーチを送り、そこで得る情報をタイにフィードバックしてレースに臨んでいた。ゴールドフリートの11位～40位はレベル差がほとんどなく3マークまではほぼ横一線でやってくる。その集団の中から3マークの手前でラップを切るスピードに差があり、日本勢はそこに苦しめられた。その中で鈴木選手が底力を見せ、後半追い上げた（アジア女子3位）。課題は残るが、最終レースのフィニッシュラインを切るまであきらめずに戦い抜いた選手たちは本当に立派だった。

選手たちの今後に期待

12月のこの大会をもって中3メンバーはOP卒業となる。

心 優・涅帆・しおん・陵・淳朗・僚介

長い間親子で本当によく頑張ってきたと思う。最後インドのムンバイでラストセーリングできたことは一生の思い出として心に残るだろう。OP級を卒業しても次のステージが待っている。これからも楽しくセーリングを続けてほしい。中2以下のメンバー 惟高・太郎・将吾・弦季はもう2ヶ月後に迫った2023年のNT選考会で必ず良いパフォーマンスを發揮すると信じている。次回の2023アジア・オセアニア選手権大会はアラブ首長国連邦（UAE）アブダビで開催される。どんなドラマが待っているのか、今からとても楽しみだ。（中澤）



第53回全日本オプティミスト級セーリング選手権大会

2021年11月20日～23日
別府

大会概要

第53回全日本オプティミスト級セーリング選手権大会が、大分別府市別府北浜ヨットハーバーで開催されました。

今年も昨年に引き続きコロナ禍の影響でレセプションもなく、80名のジュニアセーラーによる全日本選手権大会となりました。本大会は、2022年世界選手権、アジア選手権他の国際大会に向けた派遣選手を決めるナショナルチーム1次選考も兼ねています。



大会日程

11月20日(土) 08:30 大会受付 計測
11:30 スキッパーズ・ミーティング
13:00 最初のレースの予告信号



11月21日(日) 08:30 コーチ・ミーティング
予選シリーズ
09:55 最初のレースの予告信号



11月22日(月) 08:30 コーチ・ミーティング
予選シリーズ
09:55 最初のレースの予告信号

11月23日(火) 08:30 コーチ・ミーティング
予選シリーズ
09:55 最初のレースの予告信号
15:30 閉会式



開会式

開会式はハーバーに隣接する北浜公園にて開催されました。



レース

Day1、Day2と2日間の風待ちの後、Day3以降順風で4レース、Day4は3レース合計7レースで終了。



大会結果

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	堤 悠人	江の島ヨットクラブジュニア	3396	8	M
2	池田 航介	江の島ヨットクラブジュニア	3389	8	M
3	重松 陽	夢の島ヨットクラブ	3176	9	M
4	鈴木 しおん	横浜ジュニアヨットクラブ	3320	8	F
5	ライナス 海波	江の島ヨットクラブジュニア	3424	8	F
6	安田 巍	兵庫ジュニア海洋クラブ	3239	8	M
7	大嶋 碧斗	横浜ジュニアヨットクラブ	3382	9	M
8	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381	6	M
9	若鍋 雄大	KMC 横浜ジュニアヨットクラブ	3231	8	M
10	岡田 海洋	海陽海洋クラブ	3335	8	M



開会式

開会式はハーバーに隣接する北浜公園にて開催されました。





JODA YEAR BOOK 2022

2022年 JODA ナショナルチーム最終選考会

2022年2月9日～13日

豊田自動織機 海陽ヨットハーバー

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	池田 航介	江の島ヨットクラブジュニア	3389	8	M
2	堤 悠人	江の島ヨットクラブジュニア	3396	8	M
3	堀野 瑠海	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3432	8	M
4	藤田 蒼士	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3407	8	M
5	本多 剛	海陽海洋クラブ	3370	8	M
6	後藤 大志	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	3400	8	M
7	岩波 萌夏	江の島ヨットクラブジュニア	3376	8	F
8	吉岡 晴月	真野浜セーリングクラブ	3271	8	M
9	伊藤 音人	B&G 時津海洋クラブ	3256	8	M
10	加原 弦季	江の島ヨットクラブジュニア	3412	6	M
11	兒島 惟高	江の島ヨットクラブジュニア	3425	7	M
12	嘉手川 涼帆	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	3374	8	F
13	有本 心優	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	8	F
14	蔭山 陵	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3163	8	M
15	上野 優介	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3287	8	M
16	鈴木 しおん	横浜ジュニアヨットクラブ	3320	8	F
17	中澤 太郎	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3356	7	M
18	北川 淳朗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3350	8	M
19	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381	6	M
20	ダウスト 絵麻	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3430	7	F
21	若鍋 雄大	KMC 横浜ジュニアヨットクラブ	3231	8	M
22	渡辺 薫	KMC 横浜ジュニアヨットクラブ	3244	7	M
23	安田 巍	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3239	8	M
24	岡田 海洋	海陽海洋クラブ	3335	8	M
25	豊澄 隆成	広島セーリングスクール	3422	6	M
26	ライナス 海波	江の島ヨットクラブジュニア	3424	8	F
27	藤田 翔伊	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3311	5	M
28	佐藤 愛浬	B&G 福岡ジュニア海洋クラブ	3240	7	F
29	濱川 航英	海陽海洋クラブ	3408	7	M
30	武井 太陽	江の島ヨットクラブジュニア	3405	7	M
31	實松 莉歩	江東区立小中学校セーリング部	3409	7	F
32	前田 海悟	横浜ジュニアヨットクラブ	3106	7	M
33	中田 航誠	江の島ヨットクラブジュニア	3288	6	M
34	石井 瑞大	B&G 高松海洋クラブ	3275	8	M
35	岡田 晴	海陽海洋クラブ	2943	6	M
36	水谷 光一	江の島ヨットクラブジュニア	3041	6	M
37	大桃 悠汰	江東区立小中学校セーリング部	3411	8	M
38	山本 権満	B&G 高松海洋クラブ	3184	8	M
39	斎脇 奉祐	B&G 別府海洋クラブ	3347	8	M
40	山内 琥太郎	B&G 新居浜海洋クラブ	3392	8	M



2022 ARKAS OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP

池田 航介 (8)、堤 悠人 (8)、堀野 瑠海 (8)、藤田 蒼士 (8)、
本多 剛 (8)



European Championship 2022

後藤 大志 (8)、岩波 萌夏 (8)、吉岡 晴月 (8)、伊藤 音人 (8)



2022 Optimist Asian Oceanian Championship

加原 弦季 (6)、兒島 惟高 (7)、嘉手川 涼帆 (8)、有本 心優 (8)、
蔭山 陵 (8)、上野 優介 (8)、鈴木 しおん (8)、中澤 太郎 (7)、
北川 淳朗 (8)、岩波 将吾 (6)



JODA YEAR BOOK 2022

第31回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ ミキハウスカップ東京 2021

2021年10月24日

東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所

順位	選手名	フリート	セール No.	学年	性別
1	兒島 惠高	江の島ヨットクラブジュニア	3425	7	M
2	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381	6	M
3	岩波 萌夏	江の島ヨットクラブジュニア	3376	8	F
4	重松 陽	夢の島ヨットクラブ	3176	9	M
5	濱川 航英	海陽海洋クラブ	3408	7	M
6	松永 虎汰郎	江の島ヨットクラブジュニア	3351	4	M
7	大桃 悠汰	江東区立小中学校セーリング部	3381	8	M
8	實松 莉歩	江東区立小中学校セーリング部	3409	7	F
9	本多 剛	海陽海洋クラブ	3370	8	M
10	中島 拓海	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3365	9	M



第17回坊ちゃんカップジュニアヨット大会

順位	選手名	フリート	セール No.	学年	性別
1	伊藤 音人	B&G 時津海洋クラブ	3256		
2	吉岡 晴月	真野浜セーリングクラブ	3271		
3	ジャクソン エリオット	B&G 松山海洋クラブ	3104		
4	北川 淳朗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3350		
5	藤田 翔伊	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3311		
6	川北 智大	B&G 高松海洋クラブ	3093		
7	豊澄 隆成	広島セーリングスクール	3422		
8	松岡 忠尚	B&G 松山海洋クラブ	3281		
9	石井 瑛大	B&G 高松海洋クラブ	3275		
10	斎賀 侑祐	B&G 別府海洋クラブ	3059		



大会2日ともに高気圧に覆われ行楽日和でした。風の弱い新居浜が更に弱い風の中で、2レース実施しました。無風では無いのですが、強い潮流に押されて、進まない状況で、潮を考えてセオリー通りにコースを引いたB&G 時津海洋クラブの伊藤音人選手が優勝しました。

Bクラスは 33艇のエントリーがあり、Bクラスも同じコンディションで2レース実施しました。B&G 兵庫ジュニア海洋クラブの越智祥史選手がB&G 高松海洋クラブの直井舷太選手と同点でしたが、タイを解いて優勝しました。

Cクラスは、正本楓選手が優勝しました。



JODA YEAR BOOK 2022

第35回小沢吉太郎記念少年少女ヨットレース大会

2021年11月6日～7日
江の島ヨットハーバー沖

順位	選手名	フリート	セール No.	学年	性別
1	池田 航介	江の島ヨットクラブジュニア	3389	8	M
2	加原 弦季	江の島ヨットクラブジュニア	3412	6	M
3	上野 僚介	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3287	8	M
4	堀野 瑠海	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	8	M
5	岡田 海洋	海陽海洋クラブ	3335	8	M
6	鈴木 しおん	横浜ジュニアヨットクラブ	3320	8	F
7	大嶋 碧斗	横浜ジュニアヨットクラブ	3382	9	M
8	有本 心優	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	8	F
9	嘉手川 涼帆	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	3374	8	F
10	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381	6	M

2日間とも天候に恵まれ、大会当日は両日とも快晴、風速も6～8khtと安定、絶好のレースコンディション下でのレース開催となりました。午前中は北風が入り、時間が経つにつれて東に回ることはありました。レース帆走中に大きく振れることもなく、安定したレース運営ができ、当初計画通りAクラス：6レース、Bクラス8レースを実施できました。コースはAについてはトラベを使用、レグを1,000m程度確保し行いました。北よりの風がレース海面を支配する中で江の島特有のうねりも無く、風の触れを確り掴んで前に出ている子が良い成績を納めておりました。

小沢吉太郎杯 少年少女ヨット大会

主催：社団法人 江の島ヨットクラブ



2021 藤沢チャンピオンレース

2021年11月14日
江の島ヨットハーバー沖

順位	選手名	フリート	セール No.	学年	性別
1	堤 悠人	江の島ヨットクラブジュニア	3396	8	
2	岡田 海洋	海陽海洋クラブ	3335	8	
3	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381	6	
4	加原 弦季	江の島ヨットクラブジュニア	3412	6	
5	ライナス 海波	江の島ヨットクラブジュニア	3424	8	
6	嘉手川 涼帆	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	3374	8	
7	兒島 惟高	江の島ヨットクラブジュニア	3425	7	
8	飯島 來海	江の島ヨットクラブジュニア	3213	5	
9	上野 僚介	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3287	8	
10	若鍋 雄大	KMC 横浜ジュニアヨットクラブ	3231	8	

風が弱く南西からの風が入るのをハーバー内で待ち、予定より20分遅れでレースを開始。

OP-Aクラスは3レースを実施。風向は220度で安定していましたが、風速は1レース目の5～6mから3レース目の7.5～10mと強くなる傾向、これに伴って波・うねりは1レース目の1～2mから3レース目の3m超と大きくなり、風よりも波が厳しいレースコンディションでした。安全面を考慮して3レース目はV旗を掲揚し、レスキューボートをレース海面に入れてのレースとしました。波への対応力が順位に反映するレースとなり、コロナ禍でレース経験が少ない選手にとっては、課題を認識する機会になったと思います。OP-Bクラスはコンディションが悪化したため、2レースのみの実施としました。Bクラスには厳しいコンディションでしたが、貴重な経験になったと思います。





JODA YEAR BOOK 2022

2021年度江の島強化合同フリートレース アーリースプリングレガッタ

2021年3月6日

江の島ヨットハーバー沖

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	岩波 萌夏	江の島ヨットクラブジュニア	3376	8	F
2	鈴木 しおん	横浜ジュニアヨットクラブ	3320	8	F
3	池田 航介	江の島ヨットクラブジュニア	3389	8	M
4	角森 未岬	海陽海洋クラブ	3355	6	M
5	加原 弦季	江の島ヨットクラブジュニア	3412	6	M
6	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381	6	M
7	嘉手川 涼帆	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	400	8	F
8	堤 悠人	江の島ヨットクラブジュニア	3396	8	M
9	有本 心優	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	8	F
10	須永 言葉	夢の島ヨットクラブ	3286	5	F



大会当日は天候に恵まれ快晴、当初は風速が上がらずに風待ちとなりましたが、最終的に風速も6~10khtと安定、絶好のレースコンディション下でのレース開催となりました。計画より1時間ほど遅れて午前11時10分にAクラス第一レースをスタート、以後、Aクラス、Bクラス共に、順調にレースを行いました。Aクラス第一レース開始からBクラス最終レースまで、終日を通じ多少の振れはあったものの終始南風で安定、Aクラスは3レース、Bクラスは5レースを実施できました。Bクラスについては参加30艇中の約半数が今大会がデビューレースとのことでしたが、全艇、RETもなく、またDNFもなく、確りと走り切りました。



2022九州ウィンターカップ

2022年4月2日~3日

鹿児島県 平川ヨットハーバー

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	伊藤 音人	B&G 時津海洋クラブ	3256	9	M
2	斎脇 侑祐	B&G 別府海洋クラブ	3059	6	M
3	豊澄 隆成	広島セーリングスクール	3144	7	M
4	明石 韶	福岡セーリングクラブ	3416	7	M
5	北川 淳朗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3350	9	M
6	松岡 忠尚	B&G 松山海洋クラブ	3431	6	M
7	大坪 築	B&G 福岡ジュニア海洋クラブ	3325	7	M
8	宮前 佳月	福岡セーリングクラブ	3403	9	M
9	佐藤 愛浬	B&G 福岡ジュニア海洋クラブ	3240	8	F
10	永見 宗士	B&G 福岡ジュニア海洋クラブ	3406	7	M



2日間で6レース予定していたが、高気圧がはり出して二日間ともレース実施が危惧された状態でした。初日に陸上で風待ちをしていたが、4~5ノットの風が入り始め、なんとか2レースを消化できました。2日目は朝の時点で6ノットくらいの北風が吹いていたので予定通り9時予告のオンタイムで間に合うようにD旗を掲揚したが、選手たちが海面に付く前に風が落ち始め、9時にAP旗を掲揚。その後2時間程風待ちしたがレースが出来るような風が吹かず、11:20にAP+A旗を掲揚した。





JODA YEAR BOOK 2022

第19回ノルウェーフレンドシップヨットレース

2022年4月23日～24日
江の島ヨットハーバー沖

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	堤 悠人	江の島ヨットクラブジュニア	3396	9	M
2	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381	7	M
3	岩波 萌夏	江の島ヨットクラブジュニア	3376	9	F
4	池田 航介	個人会員	3389	9	M
5	本多 剛	海陽海洋クラブ	3370	9	M
6	渡辺 薫	KMC 横浜ジュニアヨットクラブ	3244	8	M
7	後藤 大志	個人会員	3400	9	M
8	岡田 晴	海陽海洋クラブ	2943	7	M
9	上野 僚介	江の島ヨットクラブジュニア	3287	9	M
10	角森 未岬	海陽海洋クラブ	3355	7	M



大会当日は両日とも天候に恵まれ快晴、風速も初日、2日目ともに10kht前後と安定し、絶好のレースコンディション下でのレース開催となりました。Aクラス、Bクラスにフリート分けしてレースを開催、最終的にAクラスは5レース、Bクラスは6レースを実施、無事終了することができました。



第67回関東水域OP連絡会オープンヨットレース大会

2022年4月29日
江の島ヨットハーバー沖

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	加原 弦季	江の島ヨットクラブジュニア	3412		M
2	池田 航介	個人会員	3389		M
3	鈴木 しおん	横浜ジュニアヨットクラブ	3320		F
4	岩波 萌夏	江の島ヨットクラブジュニア	3376		F
5	本多 剛	海陽海洋クラブ	3370		M
6	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381		M
7	上野 僚介	江の島ヨットクラブジュニア	3287		M
8	嘉手川 梨帆	個人会員	3374		F
9	若鍋 雄大	KMC 横浜ジュニアヨットクラブ	3231		M
10	堤 悠人	江の島ヨットクラブジュニア	3396		M



北の風で風速は10～15kntでしたが江の島の北風の特徴で±15°の振れ幅があり、強弱もあって難しい海面でした。

さらに激しい雨も降り、初級～中級レベルの選手にとっては厳しい条件での大会になりました。上級レベルの選手には風を予測し、潮を見てコース戦略を立てる面白い海況だったのではないかと思われます。

レースはゴールドクラスで4レース、シルバークラスで6レースを行いました。ゴールドクラスは、土砂降りの雨で視界が悪い為、やや短めのコース設定で行いましたが、全レースともコース設定を調整しフェアなレースが出来たと思います。今大会は、レース結果の速報をすぐにLINEで配信するなど新しい試みを行い、参加選手のみならずコーチ、父兄にとっても楽しめる環境を提供できるように配慮しました。今後も選手や父兄も一緒になって楽しめる大会にしていきたいと考えています。





第11回西日本ジュニア・ユース交流セーリング選手権大会

2022年4月30日～5月1日
山口県スポーツ交流村 ヨットハーバー

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	堀野 瑞海	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3432	9	M
2	伊藤 音人	B&G 時津海洋クラブ	3256	9	M
3	藤田 蒼士	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3407	9	M
4	有本 心優	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	9	F
5	中澤 太郎	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3356	8	M
6	吉岡 晴月	真野浜セーリングクラブ	3271	9	M
7	蔭山 陵	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3163	9	M
8	堀野 美	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	5	M
9	藤田 翔伊	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3311	6	M
10	ダウスト 絵麻	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3430	8	F



4月29日から大会はスタートしました。初日のAクラスは、チームレース講習会を実施。午前中に座学、午後は大会側で昨年の全日本選手権、東西選手権の成績をもとにチーム分けを行い、トーナメント方式でチームレースを行った。4月30日～5月1日は、晴天に恵まれ、第1レースのみ北東の振れ幅の大きい微風でしたが、後の6レースは、光では安定の西風でした。予定されたレースすべて完了し、上位の選手たちはその実力を十分に発揮できたと思います。



第3回Bocci Cup

2022年5月5日
江の島ヨットハーバー沖

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	堤 悠人	江の島ヨットクラブジュニア	3396	9	M
2	鈴木 しおん	横浜ジュニアヨットクラブ	3320	9	F
3	岩波 萌夏	江の島ヨットクラブジュニア	3376	9	F
4	本多 剛	海陽海洋クラブ	3370	9	M
5	嘉手川 涼帆	個人会員	3374	9	F
6	岡田 晴	海陽海洋クラブ	2943	9	M
7	有本 心優	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	9	F
8	池田 航介	個人会員	3389	9	M
9	北川 淳朗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3350	9	M
10	中田 航誠	江の島ヨットクラブジュニア	3288	7	M



大会当日は天候に恵まれ快晴、当初は風が無く風待ちとなりましたが、やがて南風が安定して入り始め、風速も安定した後、午前11:12に第1レースを開始しました。風速は終日6～8khtで安定していました。一方、風軸・風速共に安定していたものの第1レース開始時点では極めて潮が強く、3度のゼネラルリコールを経て漸くスタートできました。第1レースについては、確りと潮を理解してスタートから帆走コースまで考えていた上位選手が優位にレースを進めていました。第2レース開始時点では、潮の強さも和らいでいました。



JODA YEAR BOOK 2022

OPクラス 関西選手権

2022年5月21日～5月22日

ナショナルトレーニングセンター（和歌山セーリングセンター）

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	池田航介	個人会員	3389	9	M
2	藤田蒼士	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	34	9	M
3	藤田翔伊	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3311	6	M
4	堀野 美	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	5	M
5	本多剛	海陽海洋クラブ	3370	9	M
6	檜垣 俊忠	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3414	6	M
7	直井 胡帆	B&G 高松海洋クラブ	3253	7	F
8	ダウスト 絵麻	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3430	8	F
9	濱川航英	海陽海洋クラブ	3408	8	M
10	山本 汐穂	B&G 高松海洋クラブ	3184	7	M



軽風のシリーズとなりました。初日は朝、雨も止み予定通り出艇しましたが、東の風の中、スタートをしたものの風が弱く、また風向変化もあり一旦中止となりました。しばらく風待ちの後、北西の風が入り始める第1レースがスタートしました。初日は3レースを実施し終了しました。

2日目は晴天、暑い1日となりました。風は北西からの軽風、第6レースまで順調に進みましたが、最終レースがスタートする前から風の振れと強弱が大きくなり、スタートしたもの大きな振れがはいり中止となりシリーズが終了しました。

今回は A クラスも B クラスも接戦で、スタートもコントロールされてゼネリコは無く、また風が弱かったものの DNF は1艇もありませんでした。



第32回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ

2022年5月29日

葉山沖

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	加原 弦季	江の島ヨットクラブジュニア	3412		
2	岩波 萌夏	江の島ヨットクラブジュニア	3376		
3	嘉手川 涼帆	個人会員	3374		
4	青山 侑友	葉山町セーリング協会	3358		
5	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381		
6	秋田 海斗	江の島ヨットクラブジュニア	3247		
7	渡辺 蔦	KMC 横浜ジュニアヨットクラブ	3244		
8	貴松 莉歩	江東区立小中学校セーリング部	3409		
9	中田 航誠	江の島ヨットクラブジュニア	3288		
10	前田 海悟	横浜ジュニアヨットクラブ	3106		



10時過ぎから風が吹き始めたので、D旗を掲揚し陸上待機していた全艇を出艇させました。

【第1レース】185°、2～3knot、S～1:0.3 マイル設定。潮の影響か、スタート直前にラインを超えてUFDとなった選手が数人おりましたが、真夏のような晴天の中弱い風で30分～50分のコース時間でレースを実施しました。

【第2レース】185°、4knot、S～1:0.3マイル設定。スタートは潮の影響もあり最初のU旗でのスタートはゼネラルリコールとなり2回目のスタートは黒色旗を使いました。チャーリーを上げマーク間を短く設定し直しました。

【第3レース】185°、4knot、S～1:0.3マイル設定。時間内に3レースをスタートさせるため最初から黒色旗を準備信号で使用14時02分にスタート。風力は一時的には5～6ノットになる場面もありました、風の腰が弱く、総じて4ノットの風でした。シグナル船の京黒船長の判断もあり、なんとか3レースを実施することができました。





JODA YEAR BOOK 2022

2022年度 ジュニアレガッタ

2022年6月19日
江の島ヨットハーバー沖

順位	選手名	フリート	セール No.	学年	性別
1	加原 弦季	江の島ヨットクラブジュニア	3412	7	M
2	堤 悠人	江の島ヨットクラブジュニア	3396	9	M
3	嘉手川 涼帆	個人会員	3374	9	F
4	秋田 海斗	江の島ヨットクラブジュニア	3247	7	M
5	上野 優介	江の島ヨットクラブジュニア	3287	9	M
6	青山 侑友	葉山町セーリング協会	3358	7	M
7	岩波 莉夏	江の島ヨットクラブジュニア	3376	9	F
8	池田 航介	個人会員	3389	9	M
9	前田 海悟	横浜ジュニアヨットクラブ	3106	8	M
10	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381	7	M



大会当日は天候に恵まれ快晴、終日、南風が安定して入りました。第1レース、第2レースとも微弱風、且つ第1レースは風の振れもあり、丁寧に帆走していた選手が優位にレースを進めておりました。第3レース、第4レースは少し風速も上がりました。



第22回 夢の島レガッタ

2022年6月26日
東京都若洲海浜公園ヨット訓練所

順位	選手名	フリート	セール No.	学年	性別
1	加原 弦季	江の島ヨットクラブジュニア	3412	7	
2	岩波 莉夏	江の島ヨットクラブジュニア	3376	9	
3	若鍋 雄大	KMC 横浜ジュニアヨットクラブ	3231	9	
4	鈴木 しおん	横浜ジュニアヨットクラブ	3320	9	
5	上野 優介	江の島ヨットクラブジュニア	3287	9	
6	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア	3381	7	
7	濱川 航英	海陽海洋クラブ	3408	8	
8	武井 太陽	江の島ヨットクラブジュニア	3405	8	
9	西村 航洋	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3365	7	
10	秋田 海斗	江の島ヨットクラブジュニア	3247	7	



1日を通じて、最大 25knot オーバー、波のあるコンディションの中、4 レースを実施いたしました。

安全面を考慮しBクラスはハーバーボンド内でのレースに変更、葛西沖レース海面は、Aクラスのみとし、無線機の貸与等、Aクラスのレスキュー体制・支援体制に集中できる環境を整えレースを実施しました。

風と波の強いコンディションの中、しっかりと4レース走れる選手が上位となるとともに、上位クラスとは差が開き、タイムリミットを超えるDNF艇やリタイア艇が多数出る結果となりました。





2022 障がい者と健常者のヨット大会

2022年7月16日～17日

ササキコーポレーショングループ別府北浜ヨットハーバー

順位	選手名	フリート	セール No.	学年	性別
1	伊藤 音人	B&G 時津海洋クラブ	3256	9	M
2	斎脇 侑祐	B&G 別府海洋クラブ	3059	6	M
3	中野 萌々子	B&G 福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3327	8	F
4	岡野 凜音	倉敷ジュニアヨットクラブ	3413	7	M
5	豊澄 隆成	広島セーリングスクール	3144	7	M
6	兼久 宗之	B&G 松山海洋クラブ	3281	6	M
7	正本 葵	広島セーリングスクール	3272	7	F
8	田上 千尋	B&G 福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3243	7	F
9	森田 莉央	B&G 別府海洋クラブ	3107	8	F
10	松岡 忠尚	B&G 松山海洋クラブ	3431	6	M



初日の土曜日は午前中は風が無く風待ちの後、昼から出艇となりました。安定した風向で、風速も5 kt-6 kt程度の風域でのレースを3レース行いました。

2日目は出艇したものの風が非常に弱く、初日の結果をもって大会を終了しました。



第34回 福岡ジュニアヨット選手権大会

2022年7月30日～31日

福岡市ヨットハーバー

順位	選手名	フリート	セール No.	学年	性別
1	佐藤 愛涅	B&G 福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3240	8	F
2	斎脇 侑祐	B&G 別府海洋クラブ	3347	6	M
3	中野 瑠一	石垣ジュニアヨットクラブ	3421	8	M
4	松岡 忠尚	B&G 松山海洋クラブ	3431	6	M
5	明石 韶	福岡セーリングクラブ	3416	7	M
6	中野 萌々子	B&G 福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3327	8	F
7	田上 千尋	B&G 福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3243	7	F
8	大坪 築	B&G 福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3325	7	M
9	登田 未央	広島セーリングスクール	3423	8	F
10	永見 宗士	B&G 福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3406	7	M



コロナ感染の急速な増加と、台風の接近で開催の可否が心配されましたが、クラブ員の対策で無事に開催することが出来ました。初日12ノットオーバーの風でBクラスでは、フィニッシュ出来ない艇もありましたが、Aクラスは、順調に4レース消化出来ました。二日目は風が定まらずマークの打ち替えをしましたが、2レース出来ました。台風の影響等で大変な暑さでしたが、体調不良の方も出ず、大会を無事終了出来ました。

中止になった国内レース

2022年度に中止になった国内レースは以下の通りです。

2022年1月16日 江の島ミッドウィンターレガッタ（噴火の津波の影響のため中止）

2022年2月13日 冬風ヨットレース（新型コロナ感染拡大のため中止）

2022年7月16日～7月17日 2022 がまごおり海と風レース（新型コロナ感染拡大のため中止）



JODA YEAR BOOK 2022

2022 MAIN STAGE 兵庫ジュニアオープン選手権

2022年7月30日～31日
兵庫県立海洋体育館

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	鈴木 しおん	横浜ジュニアヨットクラブ	3320	9	F
2	池田 航介	個人会員	3389	9	M
3	堀野 瑠海	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3432	9	M
4	藤田 蒼士	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3407	9	M
5	中澤 太郎	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3356	8	M
6	嘉手川 涼帆	個人会員	3374	9	F
7	ダウスト 絵麻	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3430	8	F
8	有本 心優	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	9	F
9	檜垣 俊忠	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3414	6	M
10	藤田 翔伊	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3311	6	M



レース期間中は両日ともに晴天であったが、30日の午前は風速1～2m/sの微風であることに加え、風向が不安定であることから、第1レースは予定より3時間遅れとなった。以後は風速3～5mg/s、風向240～250度で安定。Aクラスは第1マークまで 700～800mのコース構成となり、Aクラスは計6レース、Bクラスは計7レースを実施。優勝はAクラス：鈴木しおん選手（横浜）、Bクラス：久保田夏実選手（兵庫）であった。トップ艇Finish～最終艇Finishまですべて8分以内とDNF判定がない、拮抗したレース展開となった。



国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2022

2022年8月6日～7日
東京都若洲海浜公園ヨット訓練所

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	青山 侑友	葉山町セーリング協会	3358	7	M
2	池田 ななみ	江東区立小中学校セーリング部	3363	8	F
3	實松 莉歩	江東区立小中学校セーリング部	3409	8	F
4	三浦 太輝	夢の島ヨットクラブ	3176	6	M
5	須永 言葉	夢の島ヨットクラブ	3286	6	F
6	小林 和奏	江東区立小中学校セーリング部	3411	8	F
7	吉田 慶胡 オスカー	Royal Lymington Yacht Club	GBR5468	6	M
8	上條 正弘	江東区立小中学校セーリング部	3241	6	M
9	川北 智大	B&G高松海洋クラブ	3437	8	M
10	肥後 桃花	葉山町セーリング協会	3170	6	F



8/6 第1レースは南東・風力4knot～6knot の弱い風の中、OP級上級者クラスは10時32分に第1レースがスタートしました。途中、風向が小さく変わりましたが無事に実施することができました。引き続き第2レースを行い、南東から同様の弱い風の中スタートしましたが徐々に南からの風に変化をしながら風が弱まってきた。その中で選手は風の吹き出しを探しながらコースを帆走して全艇がフィニッシュすることができました。昼食を挟んで午後に第3レースを実施する頃には風が2knot～3knotに落ちてしまい、レース実施基準以下となりました。しばらく風の吹き出しを待ちましたが、これ以降のレースは無理と判断して午後3時過ぎには運営艇で参加艇を曳航してハーバーに帰着しました。8/7はレースエリアに朝からまったく風がない12時まで出艇をせずに待ちましたが、結局レースを実施するような風が吹かないと判断し、ノーレースにしました。

JODA YEAR BOOK 2022

全日本OP級ヨット選手権大会 歴代チャンピオン年表

回	西暦 (元号)	期間	開催地	参加艇	総合			女子			小学生		
					1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1	1969 (S44)	4/1~2	江の島	14	黒川 徹也 (江の島)	須原 洋司 (江の島)	橋田 健一 (江の島)						
2	1970 (S45)	8/28~29	江の島	9 (低学年) 9 (高学年)	生野 裕治 (大分) 斎藤 正毅 (江の島)	束田 義尚 (江の島) 生野 邦子 (大分)	渡辺 由起子 (大分) 木曾 康晴 (江の島)						
3	1971 (S46)	8/9~10	江の島	18	斎藤 正毅 (江の島)	小宮 亮 (江の島)	青木 智和 (江の島)						
4	1972 (S47)	8/17~18	江の島	18	樺本 敦司 (江の島)	小宮 亮 (江の島)	青木 智和 (江の島)						
5	1973 (S48)	8/16~17	江の島	16	青木 智和 (江の島)	樺本 敦司 (江の島)	浜尾 太郎 (江の島)						
6	1974 (S49)	5/5~6	江の島	15	青木 智和 (江の島)	樺本 敦司 (江の島)	浜尾 太郎 (江の島)						
7	1975 (S50)	8/2~3	琵琶湖	34	西村 祐介 (江の島)	ルツ'フルター (江の島)	寺田 全輝 (琵琶湖)						
8	1976 (S51)	7/31~8/1	宮島	63	山村 洋之 (和歌山)	寺田 全輝 (琵琶湖)	岡 大 (千葉)						
9	1977 (S52)	8/4~5	函館	49	新谷 章 (江の島)	石川 一也 (江の島)	服部 (島根)						
10	1978 (S53)	8/2~4	諏訪湖	53	石川 一也 (江の島)	曲田 拓史 (江の島)	亀井 功 (隠岐)	山村 千恵 (諏訪湖)	松田 明子 (琵琶湖)	加藤 聰子 (清水)			
11	1979 (S54)	8/11~14	紀伊田辺	53	山口 能孝 (神戸)	上野 友和 (南紀)	石川 一也 (江の島)						
12	1980 (S55)	12/26~29	佐島	43	強風の為中止			強風の為中止			強風の為中止		
13	1981 (S56)	7/26~29	江の島	59	松田 哲也 (琵琶湖)	高山 卓衛 (江の島)	秋田 大介 (琵琶湖)						
14	1982 (S57)	10/9~11	江の島	94	高山 卓衛 (江の島) 厨川 直樹 (葉山)	※同点 2人優勝	成田 晶彦 (エスピー)				宮本 大介 (葉山)	西之園 裕二 (琵琶湖)	大門 雅広 (琵琶湖)
15	1983 (S58)	10/8~10	琵琶湖	85	厨川 弘樹 (葉山)	三輪 牧人 (レッツゴー)	大門 雅広 (琵琶湖)	厚木 文 (レッツゴー)	熊谷 直美 (エスピー)	山田 祐規子 (琵琶湖)	宮本 大介 (葉山)	浅井 紀博 (清水)	刑部 知周 (石川)
16	1984 (S59)	11/23~25	佐島	69	三輪 牧人 (レッツゴー)	池田 新 (エスピー)	吉岡 卓 (琵琶湖)	静間 敦子 (葉山)	山田 祐規子 (琵琶湖)	山元 けやき (琵琶湖)	阪間 俊文 (江の島)	古市 英貴 (エスピー)	厚木 基 (レッツゴー)
17	1985 (S60)	11/2~4	江の島	71	岩波 将輝 (横浜市民)	大門 雅広 (琵琶湖)	阪間 俊文 (江の島)	静間 敦子 (葉山)	山下 美香 (横浜)	谷本 香菜子 (松島)	今野 巧 (葉山)	山下 美香 (横浜)	金池 恒平 (宇和島)
18	1986 (S61)	10/31~11/3	和歌山	72	宮本 大介 (葉山)	金池 恒平 (宇和島)	阪間 俊文 (江の島)	山下 美香 (横浜)	持丸 由紀子 (葉山)	青山 久恵 (エスピー)	金池 恒平 (宇和島)	川上 賢一郎 (レッツゴー)	山下 うらら (横浜)
19	1987 (S62)	10/31~11/3	賀茂村	70	松永 卓也 (琵琶湖)	阪間 俊文 (江の島)	山下 美香 (横浜)	山下 美香 (横浜)	山田 あづさ (横浜市民)	吉岡 朋子 (琵琶湖)	金池 恒平 (宇和島)	藤井 洋暢 (横浜)	多賀 康太郎 (琵琶湖)
20	1988 (S63)	9/23~27	横浜	76	戸田 茂樹 (千葉)	松本 健司 (横浜市民)	中村 和男 (横浜市民)	山下 美香 (横浜)	山下 麗 (横浜)	山田 真弓 (横浜市民)	松本 健司 (横浜市民)	岩波 俊光 (葉山)	関 康治 (横浜)
21	1989 (H1)	11/23~26	江の島	81	関 康治 (横浜)	山田 基善 (琵琶湖)	松本 健司 (横浜市民)	山下 麗 (横浜)	菅谷 泰子 (中央区)	松浦 宏美 (清水)	西谷 拓造 (江の島)	永山 桃子 (横浜)	松永 鉄也 (琵琶湖)
22	1990 (H2)	10/10~12	琵琶湖	102	関 一人 (千葉)	中村 公紀 (琵琶湖)	松本 健司 (横浜市民)	永山 桃子 (横浜)	山田 真弓 (横浜市民)	望月 貞代 (清水)	松永 鉄也 (琵琶湖)	渡辺 哲雄 (夢の島)	荒川 海彦 (名古屋)
23	1991 (H3)	11/1~4	シーボニア	100	山下 麗 (横浜)	佐藤 隆博 (江の島)	松本 健司 (横浜市民)	山下 麗 (横浜)	安岡 千夏 (江の島)	山田 真弓 (横浜市民)	松永 鉄也 (琵琶湖)	田窪 洋人 (江の島)	佐渡 忠俊 (tss)
24	1992 (H4)	10/31~11/3	宮島	102	松永 鉄也 (琵琶湖)	荒川 海彦 (なごや)	渡辺 哲雄 (夢の島)	仲野 照美 (琵琶湖)	永山 桃子 (横浜)	三部 ゆうき (江の島)	三部 ゆうき (江の島)	田村 勇太 (tss)	辻 宏樹 (鳥取)
25	1993 (H5)	10/31~11/3	御前崎	107	渡辺 哲雄 (夢の島)	荒川 海彦 (なごや)	松永 鉄也 (琵琶湖)	三部 ゆうき (江の島)	羽田 梨絵 (葉山)	近藤 愛 (葉山)	斎藤 裕介 (tss)	佐渡 忠洋 (tss)	水谷 謙太 (名古屋)
26	1994 (H6)	11/3~6	横須賀	137	三部 ゆうき (江の島)	田窪 寿人 (江の島)	松永 鉄也 (琵琶湖)	三部 ゆうき (江の島)	鈴木 恵美子 (江の島)	吉迫 由香 (tss)	内田 諒 (横浜市民)	佐渡 忠洋 (tss)	萩原 潤 (伊東)
27	1995 (H7)	11/3~5	シーボニア	139	内田 諒 (横浜市民)	中田 俊輔 (横浜市民)	中川 剛 (琵琶湖)	久留原 千尋 (琵琶湖)	岡田 風美 (葉山)	山田 梢 (横浜市民)	今井 信行 (琵琶湖)	フライアンソニー (江の島)	田中 俊介 (琵琶湖)
28	1996 (H8)	11/1~4	蒲郡	135	斎藤 裕介 (tss)	神谷 航路 (中央区)	佐渡 忠洋 (tss)	近藤 詩織 (葉山BAJR)	平井 敦子 (江の島)	高橋 礼子 (ビーチス)	神谷 航路 (中央区)	今井 信行 (琵琶湖)	田中 俊介 (琵琶湖)
29	1997 (H9)	10/31~11/3	浜名湖	140	神谷 航路 (中央区)	高橋 礼子 (ビーチス)	内田 諒 (横浜市民)	高橋 礼子 (ビーチス)	平井 敦子 (江の島)	白井 敦子 (ビーチス)	神谷 航路 (中央区)	野中 祐樹 (江の島)	西村 真洋 (琵琶湖)
30	1998 (H10)	10/31~11/3	琵琶湖	139	神谷 航路 (中央区)	今井 信行 (琵琶湖)	西村 真洋 (琵琶湖)	田畠 和歌子 (兵庫県ヨット)	高橋 礼子 (ビーチス)	疋田 菜穂子 (琵琶湖)	近藤 康史 (葉山BAJR)	植田 順大 (ビーチス)	豊田 翔平 (兵庫県ヨット)
31	1999 (H11)	10/30~11/2	江の島	140	神谷 航路 (中央区)	平井 敦子 (江の島)	鈴木 美帆 (江の島)	平井 敦子 (江の島)	鈴木 美帆 (江の島)	池本 碧 (江の島)	小宮 航 (江の島)	飯束 潮吹 (江の島)	木内 蓉子 (江の島)
32	2000 (H12)	11/9~12	江の島	140	神谷 航路 (中央区)	木内 蓓子 (江の島)	樋口 讓 (横浜市民)	木内 蓓子 (江の島)	鈴木 美帆 (江の島)	池本 碧 (江の島)	川添 正浩 (江の島)	小栗 拓也 (ビーチス)	横田 敏一 (江の島)

JODAY YEAR BOOK 2022

回	西暦 (元号)	期間	開催地	参加艇	総合			女子			小学生		
					1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
33	2001 (H13)	11/2~5	和歌山	138	平井 恵子 (江の島)	鈴木 美帆 (江の島)	木内 蓉子 (江の島)	平井 恵子 (江の島)	鈴木 美帆 (江の島)	木内 蓉子 (江の島)	小宮 航 (江の島)	曾和 慎也 (琵琶湖)	横田 敏一 (江の島)
34	2002 (H14)	11/1~4	蒲郡	141 (韓国5)	小宮 航 (江の島)	河合 龍太郎 (静岡県連)	飯束 潮吹 (江の島)	木内 蓉子 (江の島)	豊田 晃子 (別府)	斎藤 梨菜 (広島)	石原 帆高 (江の島)	磯崎 友也 (茨城)	鈴木 明日美 (KMC横浜)
35	2003 (H15)	10/23~26	福岡	139 (韓国5)	石原 帆高 (江の島)	川添 正浩 (江の島)	小宮 航 (江の島)	後藤 沙季 (別府)	松下 結 (長崎)	山田 舞波 (別府)	熊川 均 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	田中 航輝 (兵庫)
36	2004 (H16)	10/31~11/3	江の島	140	熊川 均 (江の島)	埼玉 匠海 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	後藤 沙季 (別府)	松下 結 (別府)	埼玉 匠海 (江の島)	吉永 紀仁 (玄海)	田中 航輝 (兵庫)
37	2005 (H17)	11/3~6	名取	136	小宮 悠 (江の島)	大日向 喜咲 (横浜)	若林 友世 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	大日向 喜咲 (横浜)	若林 友世 (江の島)	大日向 喜咲 (横浜)	若林 友世 (江の島)	石原 鳩人 (江の島)
38	2006 (H18)	11/2~5	広島	140	小宮 悠 (江の島)	埼玉 匠海 (江の島)	熊川 均 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	長堀 友香 (中央区)	高橋友海 (江の島)	森山 慎太郎 (光)	渡部 雄貴 (松山)	石原 鳩人 (江の島)
39	2007 (H19)	11/1~4	別府	146 (韓国6)	脇坂 尊 (江の島)	若林 友世 (江の島)	土居 愛実 (横浜)	若林 友世 (江の島)	土居 愛実 (横浜)	新谷 つむぎ (江の島)	岡田 奎樹 (福岡)	深沢 瑛里 (江の島)	佐藤 宏樹 (江の島)
40	2008 (H20)	10/31~11/2	蒲郡	142 (韓国2)	若林 友世 (江の島)	岡田 奎樹 (福岡)	脇坂 尊 (江の島)	若林 友世 (江の島)	市川 夏末 (夢の島)	新谷 つむぎ (江の島)	埼玉 成海 (江の島)	岸 裕花 (江の島)	横山 南泉 (江の島)
41	2009 (H21)	10/31~11/3	江の島	145 (香港5)	山本一徹 (広島)	岡田 奎樹 (福岡)	樋口 舶 (横浜市民)	市川 夏末 (夢の島)	新谷 つむぎ (江の島)	深沢 �瑛里 (江の島)	田中 美紗樹 (兵庫)	埼玉 成海 (江の島)	高宮 豪太 (江の島)
42	2010 (H22)	11/4~7	光	142 (GUI、NZL)	高宮 豪太 (江の島)	高山 大智 (B&G別府)	菅野 翔 (かながわ)	岸 祐花 (湘南)	有山 夏子 (夢の島)	川戸 紅葉 (夢の島)	松尾 虎太郎 (広島)	高山 鳩太 (KMC横浜)	小村 凜平 (玄海)
43	2011 (H23)	8/20~23	唐津	141 (NZL1)	高竹 義樹 (広島)	榎原 健人 (藤沢市)	田中 美紗樹 (B&G兵庫)	田中 美紗樹 (B&G兵庫)	藤本 優 (江の島)	須河内 茉里 (藤沢市)	神谷 仁 (浜名湖)	小木曾 凉 (江の島)	尾道 佳諭 (B&G時津)
44	2012 (H24)	8/23~26	葉山	140	高山 鳩太 (KMC横浜)	田中 美紗樹 (B&G兵庫)	高宮 豪太 (江の島)	田中 美紗樹 (B&G兵庫)	辻 アンナ (中央区)	宇田川 真乃 (横浜)	花田 義弘 (光)	桐井 航汰 (江の島)	玉山 義規 (丸玉)
45	2013 (H25)	11/1~4	蒲郡	141 (韓国2)	小木曾 凉 (江の島)	尾道 佳諭 (B&G時津)	玉山 義規 (丸玉)	辻 アンナ (中央区)	宇田川 真乃 (横浜)	中村 瑠夏 (横浜)	内貴航路朗 (横浜市民)	前田 海陽 (広島)	佐々木マールト星和 (B&G兵庫)
46	2014 (H26)	11/1~3	広島	140	倉橋 直暉 (海陽)	内貴航路朗 (横浜市民)	前田 海陽 (広島)	抜井 理紗 (B&G兵庫)	三浦 風砂 (浜名湖)	藤本 諒 (江の島)	服部 陸太 (江の島)	須河内 陽夏 (藤沢市)	池田 海人 (江の島)
47	2015 (H27)	11/20~23	江の島	145 (韓国5)	倉橋 直暉 (海陽)	服部 陸太 (江の島)	抜井 理紗 (B&G兵庫)	抜井 理紗 (B&G兵庫)	蓮 千鶴 (江の島)	パーキンス花 (江の島)	池田 海人 (江の島)	磯辺 壱心 (B&G兵庫)	安永 昂生 (B&G福岡)
48	2016 (H28)	11/3~6	福岡	145 (韓国4、ドイツ)	抜井 理紗 (B&G兵庫)	大澤 雄帆 (葉山)	服部 陸太 (江の島)	抜井 理紗 (B&G兵庫)	北原 頌子 (江の島)	青山 知央 (葉山)	大澤 雄帆 (葉山)	北原 頌子 (江の島)	菅澤 虎士朗 (江の島)
49	2017 (H29)	11/23~26	若洲	140	嶋倉 照晃 (真野浜)	和知 健太郎 (江の島)	安永 昂生 (B&G福岡)	北原 頌子 (江の島)	内田 愛理 (清水)	前田 月里 (広島)	岩永 燐汰 (海陽)	苗床 隆之介 (北九州)	菅澤 虎士朗 (江の島)
50	2018 (H30)	11/22~25	江の島	143 (ESP, USA1, NZL)	鷺尾 青 (江の島)	前田 月里 (広島)	幸野 翔太 (B&G別府)	鷺尾 青 (江の島)	前田 月里 (広島)	北原 頌子 (江の島)	菅澤 虎士朗 (江の島)	東道 すず (江の島)	堤 悠人 (江の島)
51	2019 (R1)	11/21~24	鹿児島	145 (THA, HKG, AUS)	岩永 燐汰 (海陽)	前田 月里 (広島)	幸野 翔太 (B&G別府)	前田 月里 (広島)	東道 すず (江の島)	藤原 優咲 (B&G兵庫)	児島 惟高 (江の島)	後藤 大志 (YMFS葉山)	堤 悠人 (江の島)
52	2020 (R2)	11/20~23	江の島	80	重松 陽 (夢の島)	早川 大翔 (湘南)	本多 剛 (海陽海洋)	東道 すず (江の島)	出口 美帆 (浜名湖)	鈴木 しおん (横浜ジュニア)	武田 琢磨 (江の島)	兒島 惟高 (江の島)	岩波 将吾 (江の島)
53	2021 (R3)	11/20~23	別府	80	堤 悠人 (江の島)	池田 航介 (江の島)	重松 陽 (夢の島)	鈴木 しおん (横浜ジュニア)	ライナス海波 (江の島)	有本 心優 (B&G兵庫)	岩波 将吾 (江の島)	加原 弦季 (江の島)	豊澄隆成 (広島)

※第14回大会より世界選手権大会の1次予選を兼ねる
※第15回大会より女子、小学生の部にカップが出来る
※第48回大会より予選・決勝方式を採用する



SAILFAST

全日本選手権 破竹の8連覇達成！

OPの厳格なクラスルールの下では、船型によるボートスピードの違いは殆ど期待できません。ではブルーブルーは何が優れているのか？ひとことで言えば剛性です。45°方向と135°方向にガラス繊維を配したダブルバイアスクロスを用いることで、箱形のOPにとっても最も苦手なねじれを抑え、セールのパワーをロスなくスピードにつなげることができます。

硬く丈夫なハルは経年劣化が少なく、レース艇としてのパフォーマンスを長く保てるのも利点です。事実、船齢が10年を越えても全日本選手権を何度も制しています。これまでの常識を覆す長寿命もブルーブルーを選ぶ大きな理由と言えるでしょう。

全日本選手権を8回も連続で優勝できたのは決して偶然ではありません。日本のジュニアセーラーのために可能な限り輸送コストや中間マージンを省き、お求め安い価格を維持しています。また特別カラーオーダーも追加コスト無しで対応可能です。世界でも日本でも結果を出し続けるブルーブルー。修理やメンテナンスなどのアフターサービスもお気軽にご用命ください。

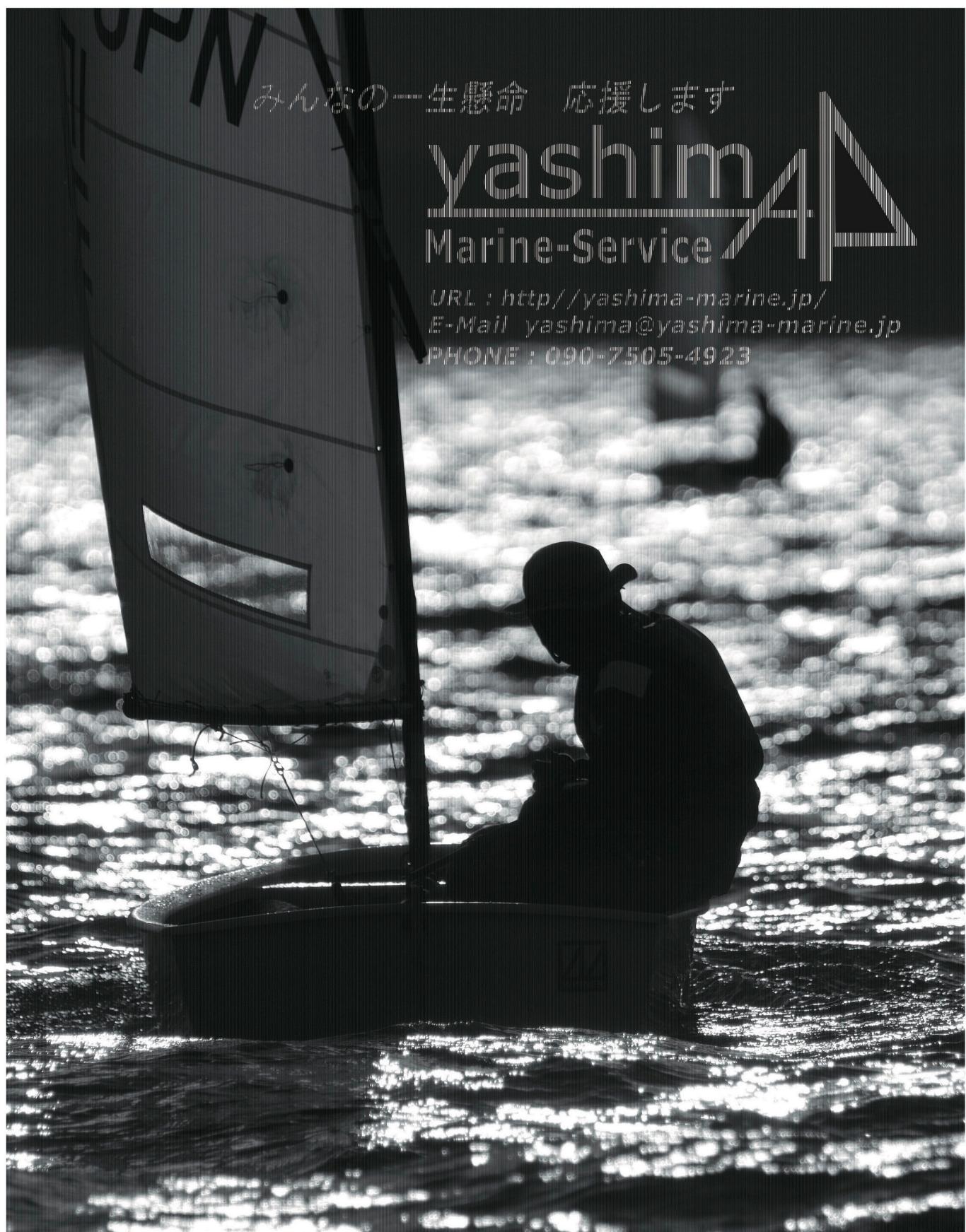
BlueBlue Optimist 300,000円（税込330,000円）
Blue2 Optimist 320,000円（税込352,000円）
IOD95適合ハル、アジャスタブルマストステップ
OPTIMAXマストスリーブ、ハイキングストラップ
センタークースペーサー、ショックコード
コンテナ輸送料、通関手数料、計測証明書

Blueblue
Blue2

OP 全日本選手権 実績

2014年 優勝 倉橋直暉 選手
2015年 優勝 倉橋直暉 選手
2016年 優勝 抜井理紗 選手
2017年 優勝 嶋倉照晃 選手
2018年 優勝 鶯尾青 選手
2位 前田月里 選手
3位 幸野翔太 選手
4位 黒田研一郎 選手
5位 重松駿 選手
6位 宇田川涼太郎 選手
2019年 優勝 岩永燎汰 選手
2位 前田月里 選手
3位 幸野翔太 選手
2020年 優勝 重松陽 選手
2021年 優勝 堤悠人 選手

お問い合わせ、お見積りは
国内総代理店
有限会社 SAILFAST
神奈川県三浦郡葉山町長柄888-1
TEL 046-876-2889
info@sailfast.jp www.sailfast.jp



みんなの一生懸命 応援します

yashima
Marine-Service

URL : <http://yashima-marine.jp/>
E-Mail yashima@yashima-marine.jp
PHONE : 090-7505-4923

ノースセールは未来のオリンピックセーラーを応援しています。
ともにオリンピックの表彰台を目指しましょう！



OP NEW DESIGN V-SERIES 誕生

V1

V2

V3

Vシリーズセールは日本でデザイン、開発され世界中で長い時間をかけてテストを行い、収集した膨大なデータをもとに数々の改良を重ねてきました。国内外多くのタイトルを獲得してきたPシリーズ、Rシリーズをベースにクロスの配置を見直し考える最良のシェイプをインプットすることによりOPTI史上最高のセールが完成しました。全ての風域、ウエイトレンジをカバーできる3タイプを用意しました。心身ともに成長期にあるOPTIセーラーの要望に十分応えることができるデザインとなっています。

YOKOHAMA LOFT 045-770-5666
KANSAI LOFT 0798-26-7771

www.northsails.co.jp

NORTH SAILS



QUALITY PRODUCTS



Performance sailcraft Japan
QUALITY INTERNATIONAL CLASS SAILBOATS

日本オプティミスト・ディンギー協会 2022年役員

会長 浅野 秀則

副会長 田中 耕 (江の島ヨットクラブジュニア)

田中 令江 (B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ)

理事長 濱本 徹夫 (B&G 別府海洋クラブ)

副理事長 松尾 英樹 (広島セーリングスクール)

副理事長兼事務局長 菅澤 祐輔 (江の島ヨットクラブジュニア)

理事 青野 康広 (B&G 松山海洋クラブ)

理事 西村 将弘 (B&G 兵庫海洋クラブ)

理事 山田 耕充 (葉山町セーリング協会)

理事 本多 哲也 (海陽海洋クラブ)

理事 飯島 真理 (江の島ヨットクラブジュニア)

理事・会計 安永 昌代 (B&G 福岡ジュニアヨットクラブ)

理事 宇田川 智 (横浜ジュニアヨットクラブ)

理事 近藤 哲弘 (夢の島ヨットクラブ)

理事 佐藤 厚子 (葉山町セーリング協会)

監事 檜皮 浩二 (広島セーリングスクール)

監事 西村 進一 (横浜ジュニアヨットクラブ)

JODA YEAR BOOK 2022

日本オプティミストディンギー協会

2023年3月発行

STAFF: MARI IIJIMA

MIWA UEDA (DESIGN&EDIT)

